令和　3　年度事業評価シート

No.1

PLAN(計画)　　自己評価

事務事業番号	72

担当課	経営デザイン課	担当課長	中原　三千代
事業担当者	山崎　千晴	一次評価者	藤野　孝一
事業区分	継続事業	事務事業評価の履歴	有
事務事業名	ホームページ運営事業		
予算科目	2　款　1　項　2　目		
予算事業名	広報費		
総合計画での位置づけ（施策名）	まちづくりを共有できる情報発信・町民参加機会の拡大		
事業の性格	自治事務		
法令根拠等	–		
事業の対象	町内外の個人・法人		
事業の目的	地域住民へのお知らせや観光・産業情報を、リアルタイムかつ十分な情報量で町内外に発信する。		
実施期間 開始年度	平成　13　年度から		
実施期間 終了年度	令和　　年度まで		
事業の内容	町勢・暮らしの情報・手続きの案内・行政情報・施設案内・観光情報・イベント情報・産業情報・町の特徴などについて掲載するほか、専用フォームより町への質問・要望を受け付ける。		

目的達成の指標（成果指標）

1日あたりのページビュー数（PV数）

区分 年度	単位	2　年度	3　年度	4　年度	5年度
目標	回	2,000	2,000	2,600	2,860
実績	回	2,435	2,168		

指標設定の考え方	PV数は、訪問者がホームページ内のコンテンツをどれだけ能動的に閲覧したのかの指標となるため。
計画時の懸案事項	前回のリニューアルから時間が経過し、現在のホームページの内容について、所々改善の必要性もでてきているため、必要な情報を誰でも簡単に得られるような構成、より分かりやすい掲載内容にしていくための検討が必要であると考えられる。また同時に、更新作業を行う側にとっても、スムーズに作業を行える仕組みを取り入れることで、より旬な情報を、効率的に発信していくことも必要である。
計画時の懸案事項への対応	リニューアルを実施する。

PLAN（計画）

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額　1,839 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。（千円）

項目		2 年度予算	3 年度予算	4 年度予算	5 年度予算
事務量	① 人工数	0.27	0.38	0.27	0.27
	② 人件費単価	7,652	7,179	7,898	7,898
	③ 補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費（①×②－③）	2,066	2,728	2,132	2,132
事業費	直接事業費	475	14273	513	992
	人件費	2,066	2,728	2,132	2,132
	合計	2,541	17,001	2,645	3,124
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	2,541	17,001	2,645	3,124
	合計	2,541	17,001	2,645	3,124

事業費計画

（千円）

区分／年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
目標	475	14,273	513	992	1,425
実績	475	14,273			

事業活動の実績（活動指標）

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ページ数	ページ	1,850	1,000	1,000	1,000
		2,083	715		
新着情報更新件数	回	120	120	120	120
		117	122		
久山の話題更新件数	回	12	12	12	12
		11	5		
トップページ更新・ホームページ機能向上実施数	回	2	1	－	－
		2	1	－	－

DO（実施）

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額　1,683 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。（千円）

項目		2 年度決算	3 年度予算	3 年度決算	4 年度予算
事務量	① 人工数	0.27	0.38	0.38	0.27
	② 人件費単価	7,652	7,179	7,022	7,898
	③ 補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費（①×②－③）	2,066	2,728	2,668	2,132
事業費	直接事業費	475	14273	14273	513
	人件費	2,066	2,728	2,668	2,132
	合計	2,541	17,001	16,941	2,645
財源内訳	国庫支出金	0	0	1380	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	2,541	17,001	15,561	2,645
	合計	2,541	17,001	16,941	2,645

実施備忘録

CHECK（評価）

No.3

自己評価	評価者	山崎　千晴

5段階評価で評点を付けます。
5　大 ←→ 小　1

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
□ 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	B
□ 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
□ 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	4	
□ 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4	
2. 町が実施する必要があるか？		
□ 町が実施主体となることが法令等により定められている。 **※該当する場合は左の□にチェックしてください。**		
□ 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	B
□ 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
□ 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	4	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
□ 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	4	B
□ 事業の手法・活動内容は適切である。	3	
□ 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	3	
②効率性		
□ 事業費に見合った成果を上げている。	3	C
□ 外部委託等（指定管理者を含む）による効率化が図られている。	3	
□ 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	3	
③公平性・透明性		
□ 受益者負担について課題はない。（または、受益者負担を求めることが適当でない。）	3	C
□ 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	3	
□ ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3	

今後の方向性	A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの
□ A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）	
☑ B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）	
□ C見直し	
□ D廃止	
□ E完了	

C見直しの具体的内容
□ 実施方法の工夫
□ 事業の効率化
□ 受益者負担の適正化
□ 事業縮小
□ その他

4. 自己評価の理由（必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から）

本事業は、町内外問わず、多くの方々に行政情報等を発信するという役割を担っており、生活に及ぼす影響は大きく、その必要性は高いと言える。また、有効性、効率性という点では、業務委託をし、ホームページの管理運営を行っており、町の情報をすぐに手に入れることができる環境を整えていることから、その有効性等は高いと考える。なお、ホームページのURLを、町の情報発信に合わせて、町Facebookや他団体の媒体等に掲載することで、より多くの人に見ていただけるよう工夫していることから、公平性、透明性がある事業と言える。

5. 成果実績の評価（今後の方向性等について具体的に）と課題認識

今年度は、新型コロナウイルス感染症に関する情報など、社会情勢などに合わせた最新の情報を遅れることなく発信できており、事業の目的については、概ね達成していると言える。

一方で、今年度のPV数は前年度に比較すると、約1割減少しているが、コロナ禍前の令和元年度と比較すると約1割増加している。上位検索キーワードを見てみると「新型コロナ」に関する検索キーワードが、昨年度は「給付金第2回」及び「給付金第2回」が7位及び8位、今年度は「久山町コロナ」が26位と変化していることから、「特別定額給付金」に関する関心が減少したことが、PV数減少の要因の一つと考えられる。

今後も引き続き、最新の情報を、遅れることなく発信できるよう、他課と連携し、進めていきたい。

また、今年度は、課題となっていたホームページリニューアルについても実施した。今後は、リニューアルしたホームページの周知に努めていきたい。

CHECK（評価）

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

一次評価　評価者　藤野　孝一

5段階評価で評点を付けます。
5　大 ←→ 小　1

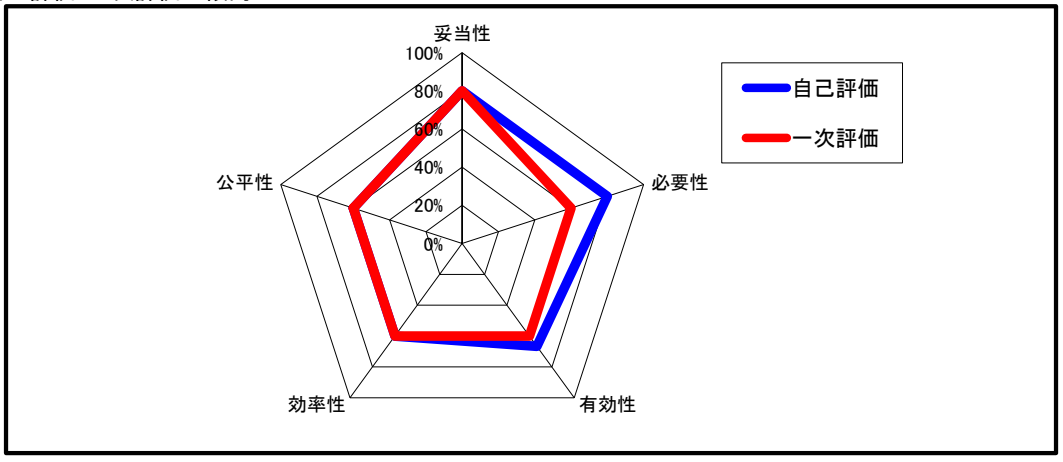
1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
□ 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	B
□ 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
□ 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	4	
□ 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4	
2. 町が実施する必要があるか？		
□ 町が実施主体となることが法令等により定められている。　※該当する場合は左の□にチェックしてください。		
□ 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	3	C
□ 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	3	
□ 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	3	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
□ 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	3	C
□ 事業の手法・活動内容は適切である。	3	
□ 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	3	
②効率性		
□ 事業費に見合った成果を上げている。	3	C
□ 外部委託等（指定管理者を含む）による効率化が図られている。	3	
□ 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	3	
③公平性・透明性		
□ 受益者負担について課題はない。（または、受益者負担を求めることが適当でない。）	3	C
□ 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	3	
□ ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3	

今後の方向性	C見直しの具体的内容
A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの	
□ A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）	□ 実施方法の工夫
☑ B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）	□ 事業の効率化
□ C見直し	□ 受益者負担の適正化
□ D廃止	□ 事業縮小
□ E完了	□ その他

一次評価の理由（今後の方向性等について具体的に）

今はいろいろな媒体での情報発信ができるので、情報の住み分けが必要になると思います。令和4年度から新しいホームページになりましたが、より使いやすいホームページになるようアップデートを継続していく必要があると思います。

自己評価・一次評価の傾向



ACTION（評価・改善）

自己評価、一次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

二次評価

評価者	中原　三千代

□ A以下の点について良好と評価し、コストを拡充し更なる事業推進を図る。

☑ B計画どおり、現状のまま事業を継続する。

目的の情報により早くたどり着けるようなホームページを目指して、アップデートを継続し、こまめな情報発信を行っていく。

□ C事業継続と判断するが、以下の課題を解決するため計画の見直しを行う。

□ D事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

→ 外部評価委員会で評価する。
月　日
開催予定

□ E事業の目的を達成し、事業完了したと判断する。

□ 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

→ 一次評価をやり直し、
月　日
までに提出すること。

□ 評価終了
□ 外部評価へ

ACTION（評価・改善）

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

外部評価

今後の方向性	A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの
□	A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）
□	B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）
□	C見直し
□	D廃止
□	E完了

C見直しの具体的内容
□ 実施方法の工夫
□ 事業の効率化
□ 受益者負担の適正化
□ 事業縮小
□ その他

評価		外部評価委員の意見

経営者会議

経営者評価	町長

今後の方向性	A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの
□	A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）
□	B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）
□	C見直し
□	D廃止
□	E完了

C見直しの具体的内容
□ 実施方法の工夫
□ 事業の効率化
□ 受益者負担の適正化
□ 事業縮小
□ その他

評価		経営者会議の結果

令和　5　年度予算要求事項（今後の取り組み）